

平成18年3月期 中間決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740



目次

FUJITOMI

グループ概要	…	1
事業所	…	2
平成18年3月期中間決算概要 / 表紙	…	3
平成18年3月期中間決算の概況	…	4
業績概況(連結)	…	5
業績概況(個別)	…	6
貸借対照表(連結)	…	7
貸借対照表(個別)	…	8
四半期ごとの営業収益の概況(連結)	…	9
業績推移(連結)	…	10
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	…	11
＜商品先物取引＞営業収益の市場別内訳(連結)	…	12
＜外国為替証拠金取引＞営業収益の推移	…	13
平成18年3月期業績予想(連結・個別)	…	14
当社の取り組み	…	15

本資料は、平成18年3月期中間業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、11月30日時点でのデータを元に作成しております。

グループ概要

FUJITOMI

〈親会社〉

当社株式51.79%保有

(株)小林洋行
(東証1部上場)

当 社

〈連結子会社〉

平成14年9月26日より
100%子会社化

丸梅(株)

商品先物取引業

〈関連会社〉

持分法非適用

出資比率23.5%

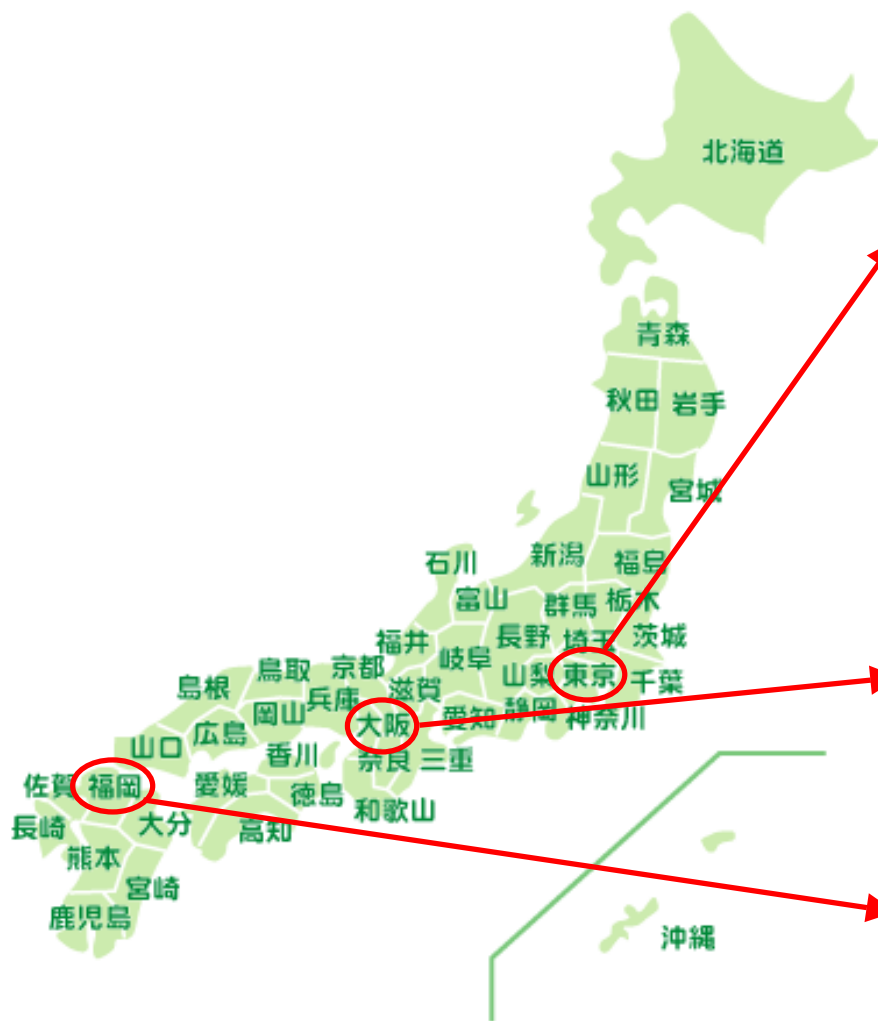
(株)インテレス・キャピタル・マネージメント

商品投資顧問業



事業所 (11月30日現在)

FUJITOMI



< 東京地区 >

本 社: 東京都新宿区大久保 1 - 3 - 17
渋谷支店: 東京都渋谷区恵比寿 4 - 3 - 8
子 会 社: 丸梅株式会社
東京都中央区日本橋兜町 7 - 2

< 関西地区 >

大阪支店: 大阪市北区曽根崎新地 2 - 1 - 23
難波支店: 大阪市中央区難波 4 - 4 - 4

< 九州地区 >

福岡支店: 福岡市中央区天神 2 - 14 - 13

平成18年3月期中間決算概要





平成18年3月期中間決算の概況

FUJITOMI

< 当社グループの営業成績 >

当社グループは改正商品取引所法施行後の新しい環境に対応する体制作りにも努めましたが、全国商品取引所の出来高合計が前年同期比26.1%減少するなか、市場環境の影響を予想以上に受け、次のとおり減収減益となりました。

営業収益	1,737百万円	(前年同期比23.3%減)
経常利益	91百万円	(同 82.6%減)
中間純利益	17百万円	(同 94.2%減)

< 主な減収要因 >

改正商品取引所法施行による勧誘規制の強化や、値動きの激しかった石油市場の取引減少などの影響により、商品先物取引の受託業務に係わる受取手数料が1,287百万円（前年同期比22.5%減）となったことが主な減収要因です。

< 子会社丸梅㈱の状況 >

石油市場（ガソリン・灯油等）の取扱減少に加え、前期好調だったコーヒーの価格低下傾向が続いたためその取扱が半減し、次のとおり大幅な減収、赤字となりました。

営業収益	351百万円	(前年同期比 47.8%減)
経常利益	10百万円	(前年同期は279百万円)
中間純利益	19百万円	(前年同期は157百万円)



業績概況（連結）

FUJITOMI

(単位:百万円)	H16.9	H17.9	対前年比(%)	(参考:H17.3通期)
営業収益	2,267	1,737	23.3	4,406
内 受取手数料	1,681	1,320	21.5	3,394
営業利益	502	51	89.8	811
経常利益	526	91	82.6	857
中間純利益	293	17	94.2	486
一株当たり中間純利益	42.72円	2.49円	94.2	68.00円
一株当たり総資産額	1,103.52円	1,152.13円	4.4	1,146.48円
株主資本比率	46.6%	52.8%	6.2point	48.4%



業績概況（個別）

FUJITOMI

(単位:百万円)	H16.9	H17.9	対前年比(%)	(参考:H17.3通期)
営業収益	1,592	1,385	13.0	3,108
内 受取手数料	1,115	1,017	8.8	2,195
営業利益	221	64	71.1	322
経常利益	264	129	51.3	389
中間純利益	153	63	58.4	238
一株当たり中間純利益	22.34円	9.30円	58.4	33.27円
一株当たり総資産額	1,049.36円	1,090.43円	3.9	1,077.96円
株主資本比率	55.4%	62.0%	6.6point	57.3%



貸借対照表（連結）

FUJITOMI

(単位:百万円)	H16.9	H17.9	対前年比(%)	(参考:H17.3通期)
流動資産合計	12,536	10,893	13.1	12,436
内 現金及び預金	7,669	5,455	28.9	7,597
固定資産合計	3,715	4,076	9.7	3,848
内 投資有価証券	905	1,378	52.2	1,110
内 投資不動産	756	903	19.4	751
資産合計	16,251	14,970	7.9	16,285
流動負債合計	7,701	6,029	21.7	7,392
内 預り証拠金	6,905	5,650	18.2	6,702
固定負債合計	572	608	6.2	581
負債合計	8,681	7,066	18.6	8,400
資本合計	7,570	7,903	4.4	7,884
内 有価証券評価差額金	254	534	110.0	375



貸借対照表（個別）

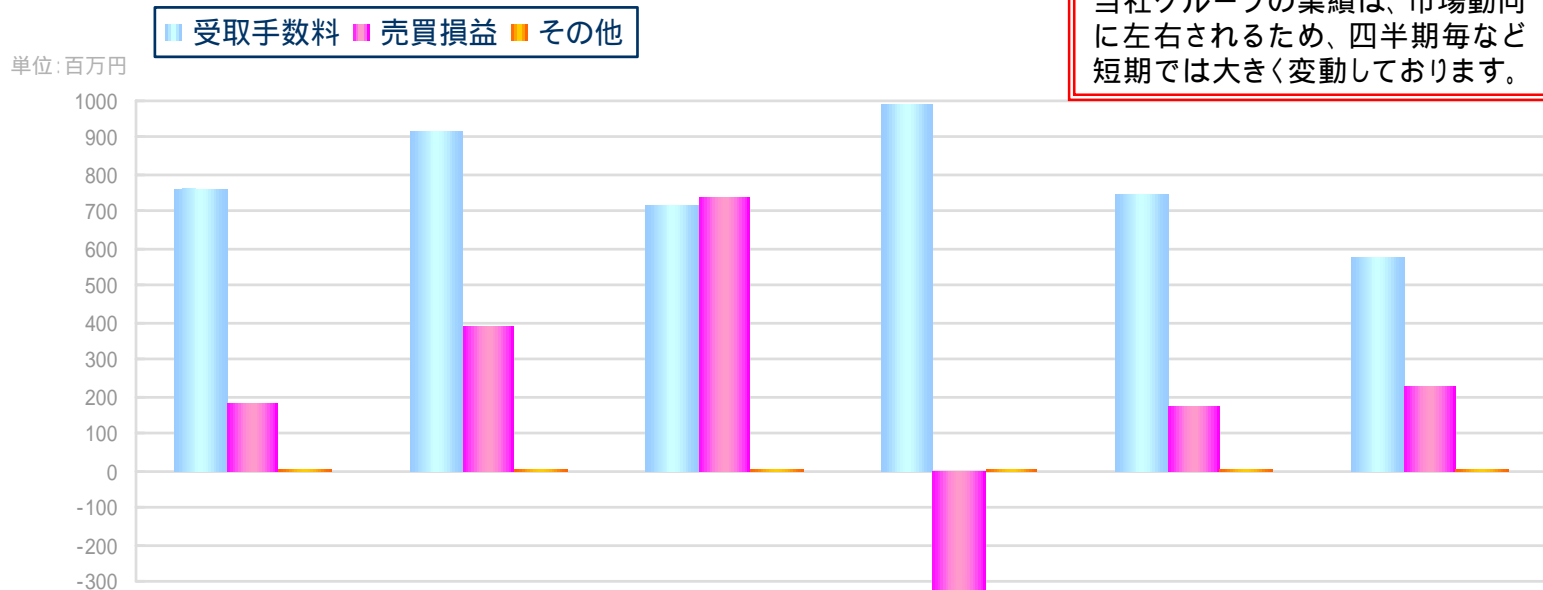
FUJITOMI

(単位:百万円)	H16.9	H17.9	対前年比(%)	(参考:H17.3通期)
流動資産合計	9,026	7,547	16.4	8,848
内 現金及び預金	5,618	4,669	16.9	5,503
固定資産合計	3,972	4,520	13.8	4,079
内 投資有価証券	850	1,323	55.6	1,055
内 投資不動産	756	903	19.4	751
資産合計	12,998	12,068	7.2	12,928
流動負債合計	4,988	3,760	24.6	4,711
内 預り証拠金	4,482	3,454	22.9	4,275
固定負債合計	443	458	3.4	443
負債合計	5,800	4,587	20.9	5,523
資本合計	7,198	7,480	3.9	7,404
内 有価証券評価差額金	254	534	110.0	375



四半期ごとの営業収益の概況（連結）

FUJITOMI



当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動しております。

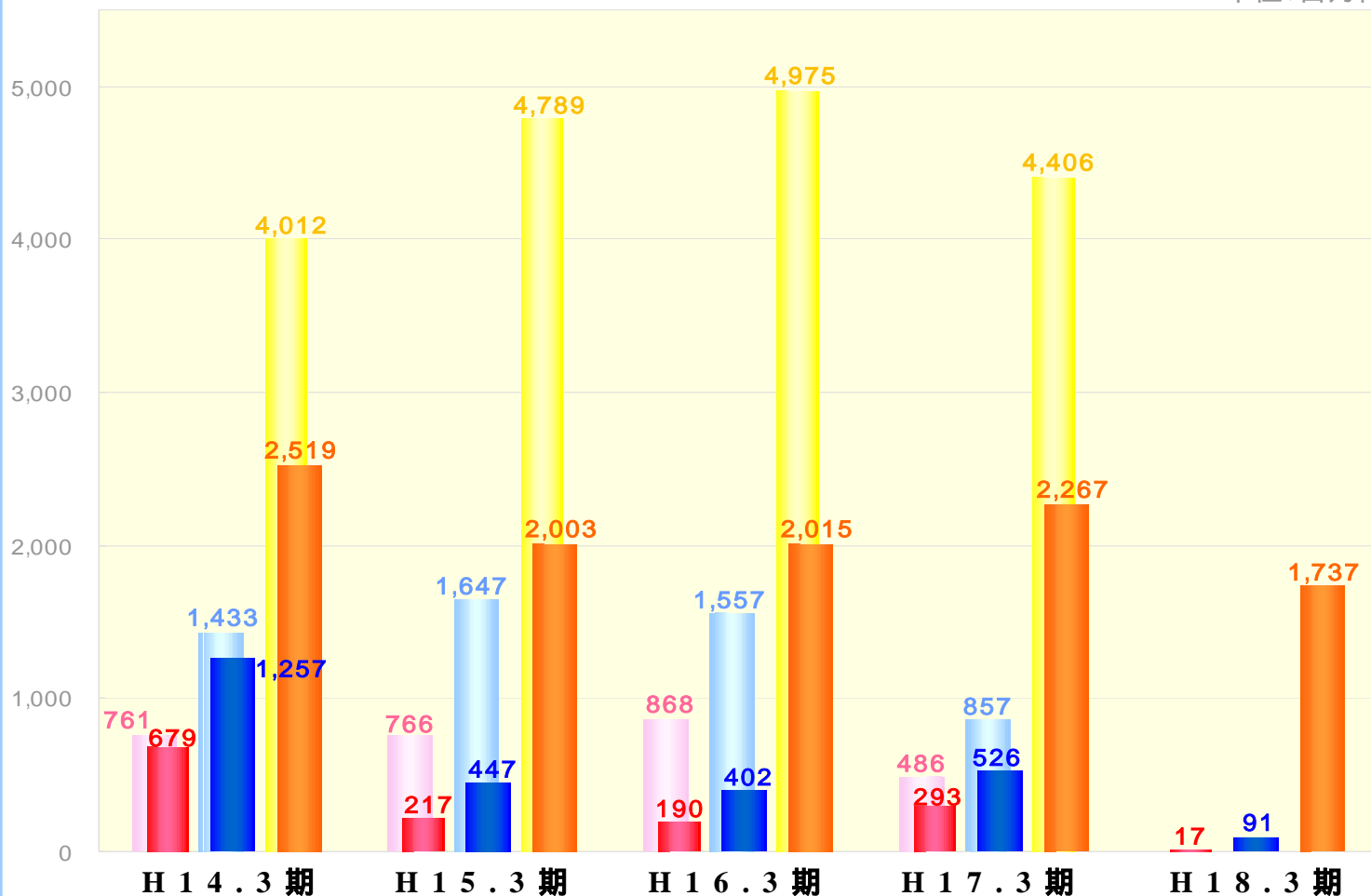
(単位: 千円)	H17/3 1Q	H17/3 2Q	H17/3 3Q	H17/3 4Q	H18/3 1Q	H18/3 2Q
受取手数料	763,713	918,105	716,157	996,819	747,551	573,187
商品先物取引	752,341	908,112	707,211	984,596	734,090	553,533
外国為替証拠金取引	11,372	9,993	8,946	12,223	13,450	19,255
商品ファンド	-	-	-	-	10	400
売買損益	184,514	394,934	743,678	323,999	175,413	229,193
商品先物取引	179,466	391,002	735,752	326,509	168,188	215,692
外国為替証拠金取引	5,048	3,931	7,926	2,510	7,225	13,500
その他	3,215	2,784	3,437	3,517	5,756	6,800



業績推移（連結）

FUJITOMI

単位：百万円



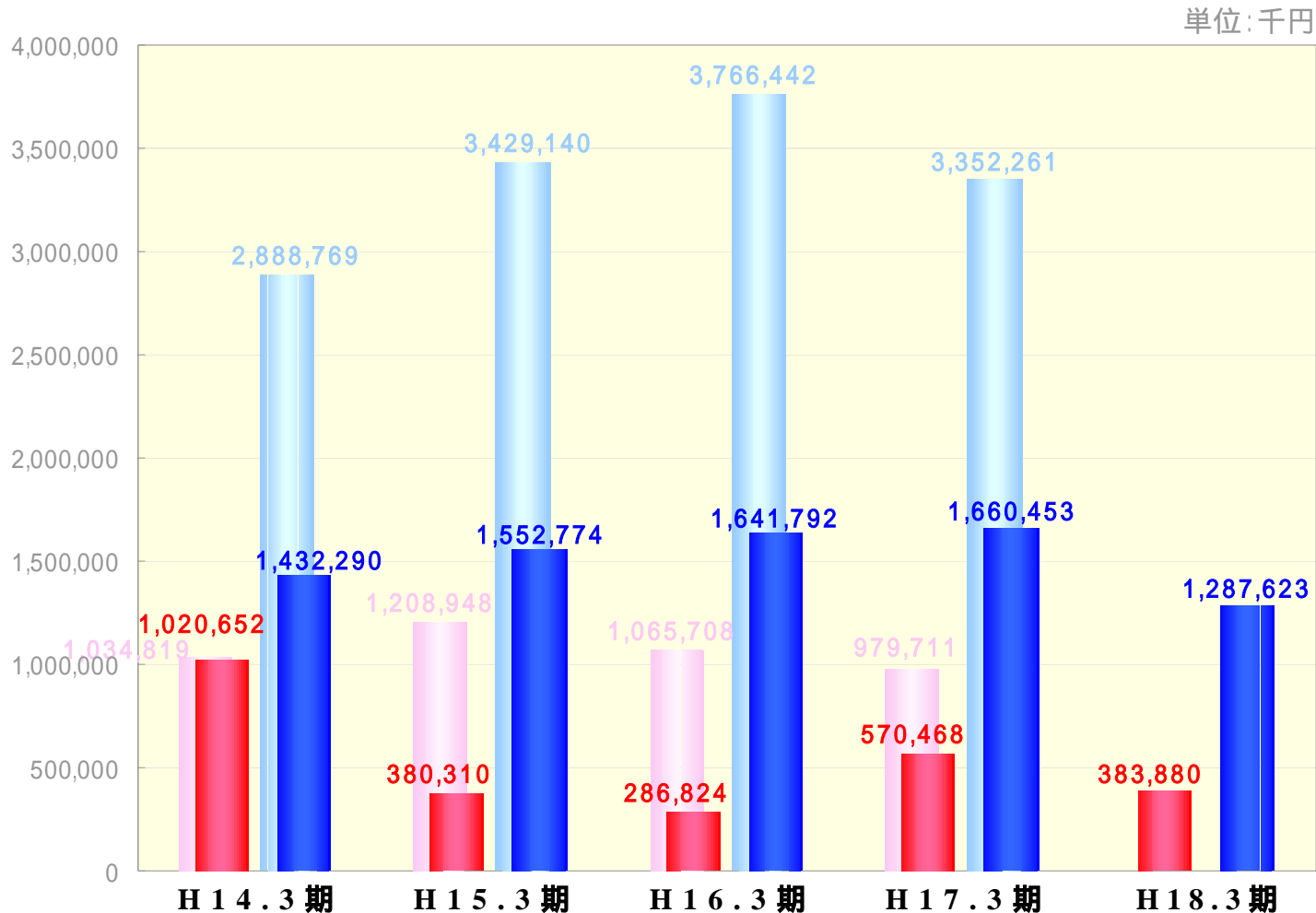
平14年3月期は連結財務諸表を作成していませんので、当社単独の数値を記載しております。

- 純利益 (通期)
- 純利益 (中間)
- 経常利益 (通期)
- 経常利益 (中間)
- 営業収益 (通期)
- 営業収益 (中間)



< 商品先物取引 > 営業収益の推移 (連結)

FUJITOMI



平 1 4 年 3 月 期 は
連結財務諸表を作成
していませんので、
当社単独の数値を
記載しております。

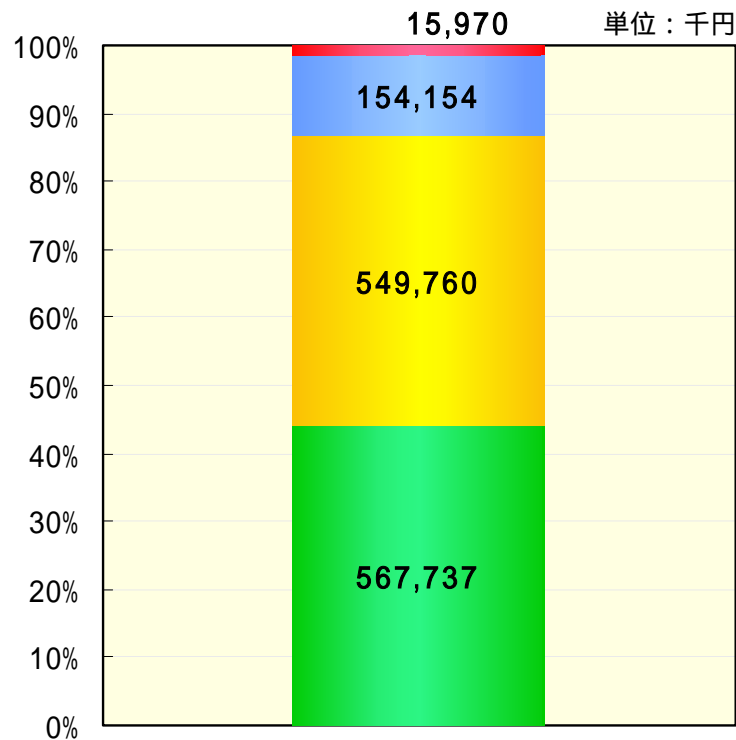
- 自己売買損益(通期)
- 自己売買損益(中間)
- 受取手数料(通期)
- 受取手数料(中間)



< 商品先物取引 > 営業収益の市場別内訳（連結）

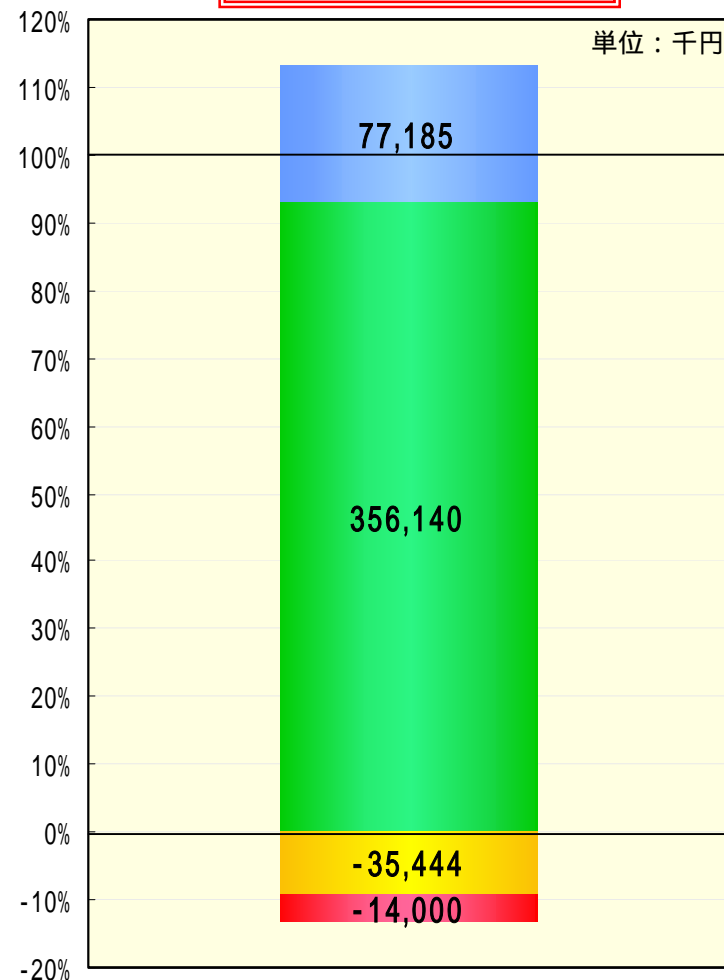
FUJITOMI

受取手数料



- その他
- 石油
- 貴金属
- 農産物

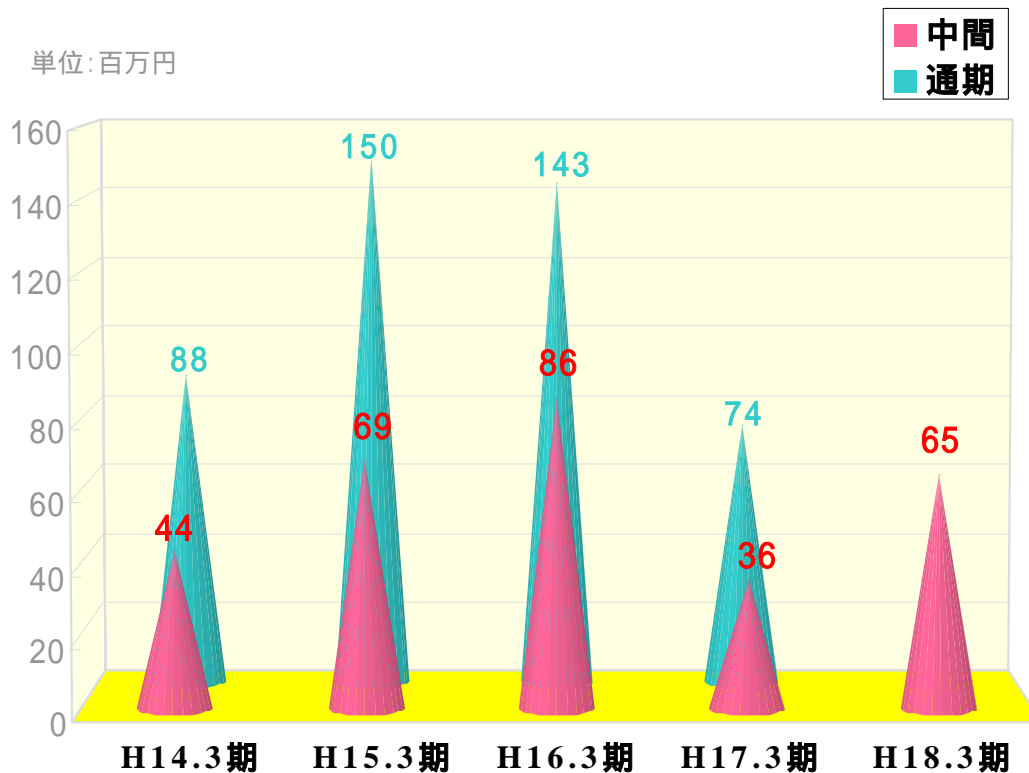
自己売買損益





< 外国為替証拠金取引 > 営業収益の推移

FUJITOMI



外国為替証拠金取引に係る営業収益は、顧客数の増加に努めた効果やドル高傾向が続いたことなどにより左記のとおり増収となりました。

金融先物取引法の改正（平成17年7月施行）により外国為替証拠金取引が同法の適用を受けることとなりました。これに対応するため、当社及び㈱小林洋行（当社の親会社）は外国為替証拠金取引部門を統合し、平成18年1月から日本電子証券㈱（小林洋行100%出資）で当該業務を行うことで合意し、外国為替証拠金取引部門を平成17年12月31日をもって日本電子証券株式会社に譲渡することになりました。



平成18年3月期業績予想（連結・個別）

FUJITOMI

連結

	営業収益	経常利益	当期純利益
通 期	3,966 百万円	820 百万円	450 百万円

1株当たりの予想当期純利益(通期) 62円76銭

個別

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				中 間 期	期 末
通 期	2,866 百万円	532 百万円	303 百万円	-	15 円 00 銭

1株当たりの予想当期純利益(通期) 42円78銭

下期には、新たな環境下における営業が定着してくることに加え、ディーリング要員育成の効果も表れるものと考えており、また、当社グループの業績は相場動向の影響を受け四半期毎又は半期毎で大きく変動するため、平成18年3月期通期の業績予想につきましては、5月19日付平成17年3月期決算短信（連結）で発表した予想業績を修正せず、その達成を目指していく方針であります。

当社グループの業績は、相場動向により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



当社の取り組み

FUJITOMI

1. 商品ファンドの販売開始

「スイッチ・ヒッター」販売開始 5月

2. 商品先物取引ホームトレードの強化

システムの強化・競争力のある手数料への改定 10月

3. 高水準のディーリング収益の維持

ディーリング要員の育成

4. 営業収益に見合った費用構造の再構築

札幌支店閉鎖 9月、八重洲支店の本社統合 10月 など

商品先物取引業界を取り巻く環境は、手数料の完全自由化や改正商品取引所法の施行により、当面、やや厳しい状況が続くと思われませんが、BRICsなどの需要増加による原油など国際商品への注目度の高まりや、市場の信頼性向上など取引環境の整備、他業態からの参入などで、中期的には、わが国先物市場は発展していくものと考えております。

当社グループは、サービス向上による顧客満足度のアップに努め、商品先物市場と共に成長を目指します。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail : keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp